

2009年度 第1回 理事会議事録

- 1、日 時：2009年5月21日（木） 19：00～21:45
- 2、場 所：神奈川県作業療法士会事務所
- 3、理事会定数 15名
出席理事：渡邊、佐藤、錠内、鈴木、作田、奥原、中西、原、机、富山、野本、浅井、野々垣、澤口、木村
委任理事：山路
出席監事：長谷川、清宮、
出席事務局員（書記）：名古屋、竹田
その他：山口（第12回県学会長）、松本（広報部員）
- 4、議長団選任
議長：渡邊 副議長：佐藤、錠内
議事録署名人は会長、監事及び出席理事より1名選出しなければならない（定款より）。よって出席理事より下記のように互選された。
議事録署名人：渡邊、清宮、鈴木
- 5、配布資料
各部
事務局理事会資料
第29回神奈川県作業療法士会定期総会 議事録
全国研修会開催地アンケート
2009年 会員数年度推移表
財務部
学術部理事会資料
教育部理事会資料
広報部理事会資料
福利部理事会資料
地域リハビリテーション部資料
各委員会
規約委員会
神奈川県学会実行委員会
福利部理事会資料
社会保障制度対策委員会
福祉用具委員会
ウェブサイト管理委員会
学会評議委員会
- 6、回覧資料
なし
- 7、議事内容
1) 会長挨拶
今年度は基盤作りを各部積極的に行っていく方針とするので、各部、各班の体制強化を進めてほしい。
- 2) 第12回県学会報告（山口）
参加者総数478名、内会員351名、県外OT39名、他職種18名、学生66名、一般4名。盛況に終了。
昨日、実行委員会を開催した。今後は引き継ぎに移る。ご協力ありがとうございました。
- 3) 第29回神奈川県作業療法士会定期総会報告（澤口事務局長）
平成21年3月末での会員数は1,319名、当日102名の会員が出席、委任状数366名で正会員の1/3以上を満たし総会は成立。提出した議事もすべて承認された。今後は、さらに会員数も伸びる。次年度は総会成立に向け、当日参加会員数の増加等が今後の検討課題。

4) 学術部 (中西理事)

分野別講習会 (精神障害分野)

日時: 7 月 11 日 (土) 場所: ウィング 横浜

テーマ: 対象者の行動からその思いを理解する ~ 事例を通して ~

今年度はまだ会費納入が始まっていないので、前年度の会費納入状況を確認して参加資格を確認する。

部員の承認 計 15 名を承認

会計担当 (1 名): 佐藤悦子 (北里大学東病院)

講習会事業担当 (8 名):

分野別講習「身体障害」: 鴻井健三 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)

「精神障害」: 西前英紀 (藤沢病院) 木村幸子 (北里大学東病院)

生涯教育講座: 三川年正 (横浜リハビリテーション専門学校) 佐藤雅也 (横浜総合病院) 林一郎 (神奈川第 2 病院) 平村真紀子 (藤沢病院) 佐藤拓也 (武田病院)

学術誌刊行事業準備担当 (3 名): 東登志夫 (神奈川県立保健福祉大学) 友利幸之助 (神奈川県立保健福祉大学) 永井善大 (横須賀市立うわまち病院)

研究助成事業準備担当 (3 名): 安部剛央、貫久美子 (衣笠病院長瀬ケンター) 石川拓也 (横須賀共済病院) 学術誌、研究助成の企画内容は 9 月理事会に報告予定

5) 教育部 (奥原理事)

研修会参加ポイント取扱マニュアルの確認

新規 SIG 認定 1 団体:

名称: よこすか勉強会

代表: 古関友美 (横須賀市立うわまち病院; OTR)

役員名簿、会員名簿。昨年度活動実績あり 承認

新規の承認のみではなく、今後は一定の時期にその後の活動報告等も必要ではとの意見あり 認定期間、活動報告などは今後検討する

部員承認 計 16 名を承認

武井寛道 (藤沢病院) 西尾香苗 (新戸塚病院) 本藤広美 (衣笠病院長瀬ケンター) 芳村紘恵 (横浜相原病院) 山口由花 (汐田総合病院) 佐藤久美子 (大和病院) 足立夏帆里 (東海大学医学部附属病院) 榊原直美 (福井記念病院) 藤原康子 (県央地域就労援助センター ぼむ) 加川里花 (介護老人保健施設湘南の丘) 金子 康 (介護老人保健施設湘南わかば苑) 大越由貫 (介護老人保健施設ヒルズ東戸塚) 大場 文 (介護老人保健施設アゼリア) 今田雅子 (独立行政法人国立病院機構 相模原病院) 中松 靖 (麻生リハビリ総合病院) 小山恭子 (横浜旭中央病院)

6) 広報部 (野本理事)

班長会議を予定。しかし、広報部として班長会議費の予算立てをしていなかった。補正もありうる。どうすればよいか 部全体の中でまず予算立てをして下さい

ニュース編集班:

最大 1600 部発行が必要と考えている

(意見) ニュースの送付先をもう一度整理してほしい。

福祉用具の新商品のニュース掲載依頼あり 広告費用を頂いて掲載することは可能

推進月間実行班:

OT 体験デーを平成 21 年 8 月 2 日 (日) に行う。 場所: 川崎市産業振興会館

施設見学会の受付期間外の対応を県士会として対応の検討を要望したい 継続審議

対外広報班

ヨハレ・ヒューマン・テクノロジーへの展示ブース出展を行う: 7 月 24 日、25 日の 2 日間

健康生活展ブース出展予定: 11 月頃

部員承認 計 15 名を承認

会計担当: 高橋久美 (横浜相原病院)

ニュース編集班: 松本政悦 (横浜市総合リハビリテーションセンター) 大宮幸恵 (つづき病院) 岡田安紀子 (舞岡病院) 菊池美帆 (介護老人保健施設しらさぎ苑) 千葉友浩 (清川遠寿病院) 馬場順子 (精神障害者就労移行支援事業所 湊風舎) 矢野竜也 (湘南中央病院)

対外広報班: 酒井由香里、八木橋絵美、大塚理江、水野友和 (横浜新都市脳神経外科病院)

推進月間実行班: 村越妙美、若林聡美 (川崎協同病院)

7) 福利部 (富山理事)

倫理問題について前回1件相談あり、その後OT協会とも相談している。今回のケースを通じて、再度マニュアル対応の徹底を行う。前部長と連携をとって、県士会としての対応を再検討する必要あり

セクハラ・パワハラについては理事会に件数のみの報告でよい。今後内容は報告しないこと。個人情報等もあり情報は慎重に扱うこと。

新入会員リレーションおよび歓迎会を9月に予定している。

会員の交流の場を企画。活動補助なども必要ではないか。整理して次回理事会提出

部員承認 計6名を承認

大谷内郁(けやきの森クリニック)、三森夏穂(汐田ヘルシクリック)、橋本早紀(汐田ヘルシクリック)、奥田萌(汐田ヘルシクリック)、椎野絢子(平塚共済病院)、畠中佳代子(藤沢市民病院)

8) 地域リハビリテーション部 (木村理事)

部員承認 計9名を承認

笹森郁子(横浜いずみ介護老人保健施設)、木村達、足立雄介、小室容子(鶴巻温泉病院)、高田靖子、田中裕美子(川崎市北部リハビリテーションセンター)、井上亜紀子(鶴見南訪問看護ステーション)、金沢隆之(相模原市役所)、河村晃(北里大学リハビリテーション学科)

県内の障害者団体との連携を予定。活動に参加してネットワーク形成作りをしていく。

現在、発達系の団体との交流や県士会学術部・広報部等と協力して協力ができないか検討中。

他団体の活動に参加する際には会費あるいは「協賛金」などが必要の場合もあるとの発言あり

9) 規約委員会 (鈴木理事)

変更登記の進捗状況の報告

研修会事業については「収益事業」にあたる 課税対象。会計士と相談して対応中

次年度研修会費も課税状況を踏まえて検討したい。

10) 福祉用具委員会 (机理事)

神奈川県社会福祉協議会県民活動推進部福利用具等利用支援担当課より福祉用具専門相談員の推薦、派遣依頼あり: 毎月第2・4土曜日の14時~16時: 神奈川県民センター13階の福祉用具展示場で福祉用具・自助具の選択、適合相談を行う。以下の計10名を推薦・派遣する。

机里恵(横浜リハビリテーション専門学校)、横浜市立脳血管医療センター(秋葉祐子)、野々垣睦美(すてっぷなな)、木下剛(済生会横浜東部病院)、坂本太郎(横浜労災病院)、村越妙美(川崎協同病院)、田中秀和、牧山大輔(横浜新都市脳神経外科病院)、沼田一恵(横浜らいず)、川辺均(茅ヶ崎新北陵病院)

部員承認 計6名を承認

秋葉祐子(横浜市脳血管医療センター)、木下剛(済生会横浜東部病院)、田中秀和、牧山大輔(横浜新都市脳神経外科病院)、沼田一恵(横浜らいず)、川辺均(茅ヶ崎新北陵病院)

PTOTスキルアップ研修: 県PT士会との共同開催を予定

11) 社会保障制度対策委員会 (澤口事務局長代読)

部員承認 計3名を承認

三浦慈子、窪田聡、出口弦舞(国際医療福祉大学)

e-learnigによる講座の開発予定。ブログの更新をしていく。

12) ウェブサイト管理委員会 (作田理事)

部員承認 計5名を承認

細谷香菜子(日本鋼管病院)、福嶋祐子(汐田総合病院)、佐藤良枝(介護老人保健施設リバーサイド)、足立夏帆里、(東海大学医学部付属病院)、田中啓介(横浜西部就労支援センター)

各部・各委員会のページの更新を行うので各理事は原稿をお願いしたい。

会費納入について 財務部野々垣理事担当。

組織図等 三役に相談

以外サーバ-の容量が次第に多くなってきたので対応方法検討

県士会サイトの使用方法の確認

13) 学会評議委員会 (原理事)

次回神奈川県作業療法学会会長の推薦

北里大学 浅井先生 承認

次回理事会に今年度の活動計画を報告予定

追加監査報告があり

県士会と事務局の口座が同じで実態つかみきれない。継続検討

選挙管理委員会の組織図での位置づけを再度検討 継続審議

日本作業療法士会では常設委員会となっている

1 4) 財務部 (野々垣理事)

6 月に会費納入書は送付予定

学術部の講習会は初回のみ当日現金対応する

会計担当に口座を作ってほしい。出来れば横浜銀行で開設してほしい。

財務が口座をまとめて開設して、カードを渡したほうが良い 早急に確認する

6 月 14 日会計マニュアル研修会を予定。場所未定

次回理事会には部員を承認予定

1 5) 企画調整委員会 (浅井理事)

部員は次回提出予定

昨年度の行動目標と詳細報告を各部に記載してもらう予定。

フォーマットはメーリングで回して、三役会開催までに記載

1 6) 事務局 (澤口事務局長)

日本ケアマネジメント学会より後援名義使用依頼あり 三役で承認

日時：6 月 18・19・20 日

場所：パシフィコ横浜

全国学会時に都道府県連絡協議会総会あり 会長出席

神奈川県病院協会学術委員会出席依頼 中西理事

神奈川精神障害者スポーツ大会実行委員会より派遣依頼あり 事務局にて対応する

5 月 26 日に第 1 回実行委員会が行われる。

OT 協会より全国研修会開催アンケートあり審議

当県士会は 2014 年に WFOT を横浜で開催する。その準備がどの程度あるか未定だが、少なくとも 2014 年後に開催を検討とする。

法人設立記念祝賀会

福利部、事務局共同の実行委員会方式で開催。

日時：7 月 23 日 (木)

場所：横浜エクセルホテル東急

部員承認 計 5 名を承認

名古屋和茂 (横浜 Y M C A 学院専門学校)、竹田博子 (川崎市中部地域療育センター)、半田和美 (ハートケア

小雀)、芳賀吉朗 (武田病院デイケア)、友利幸之介 (神奈川県立保健福祉大学)

二つの部を兼務している会員もいるが、様々な人材に県士会活動をしてもらいたいので、ある特定の人物がいなくてもその部の機能が回らない場合等、重複はやむなしと考慮しつつもなるべく、県士会としては他の部・委員会と兼ねないようにする。

入退会の動向 (4 月末日)

次回の理事会で報告する。

以上をもって審議議案はすべて終了。以下、議事録署名人が確認し記名押印する。

会議終了時間 21 時 45 分

次回の理事会開催日時 平成 21 年 7 月 16 日 (木) 19 時より

開催場所 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所
〒231-0011
神奈川県横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301
TEL / FAX 045-663-5997

議事録署名人	議長	渡邊慎一	印
	監事	清宮良昭	印
	理事	鈴木久義	印